

国際協力プログラム「WHO-NIPH生活習慣病対策ワークショップ」

WPRO-NIPH「Regional Workshop on Strengthening Leadership and Advocacy for the Prevention and Control of Noncommunicable Diseases (LeAd-NCD) 2016」

(2016年9月27日-30日)

1. 本研修の目的

WHO西太平洋地域事務局(WPRO)管内のアジア・大洋州地域の途上国では、生活習慣病の有病者の増加が大きな健康課題となっている。これらの国々にて生活習慣病対策を推進する保健省の担当者が一同に会し、その能力強化を図るためのワークショップを行うとともに、わが国でのNCDs予防対策についての取組や知見を発信することにより、アジア・大洋州地域のNCDs予防対策の推進に資する人材育成を行うのが本ワークショップの目的である。



【開講式 本院：交流対応大会議室】

2. 開催概要

WPRO管内途上国の保健省の生活習慣病対策担当者の能力強化を目指す”Regional Workshop on Strengthening Leadership and Advocacy for the Prevention and Control of Noncommunicable Diseases (LeAd-NCD)”は、本年度で4回目の開催となる。本年度は、小児肥満を重点テーマとし、講義、グループワーク、日本での学校給食視察等のプログラムを行った。小児肥満対策に関するWHOの方向性についての説明とともに、受講者各国での対策について情報共有を図り、小児肥満改善に向けた具体的な対策についてのグループ討論が行われた。また、日本の国民健康・栄養調査や学校給食制度の特色について、本院と国立医薬基盤・健康・栄養研究所担当者が説明した後に、埼玉県鶴ヶ島市のご協力を得て学校給食センターでの見学と南中学校での給食喫食体験を行った。

なお、これまでの一連のNCDワークショップでの活動内容については、WPROの公式ホームページに報告書が掲載されているので、別途ご参照いただきたい。

参照URL：http://www.wpro.who.int/noncommunicable_diseases/en/



【視察：鶴ヶ島市立南中学校】

3. 対象国

本年度の対象国は中国、フィジー、香港、マレーシア、ミクロネシア、モンゴル、フィリピン、サモア、シンガポール、トンガ、ベトナムの11か国であった。各国2名ずつの参加であり、本年度のテーマを踏まえ、1名は保健省の生活習慣病対策担当者、1名は教育省の学校保健担当者であった。

異なる国々と部門の担当者がひとつのテーマに向かってグループワークを行うことにより、生活習慣病対策の推進に必要な部局横断的のアプローチを習得する研修内容となった。



【集合写真 本院：玄関ホール】



【視察：鶴ヶ島市学校給食センター】



【講義風景 本院：3-1及び2講義室】